

空き家のままではもったいない!

合志 空き家 プロジェクト

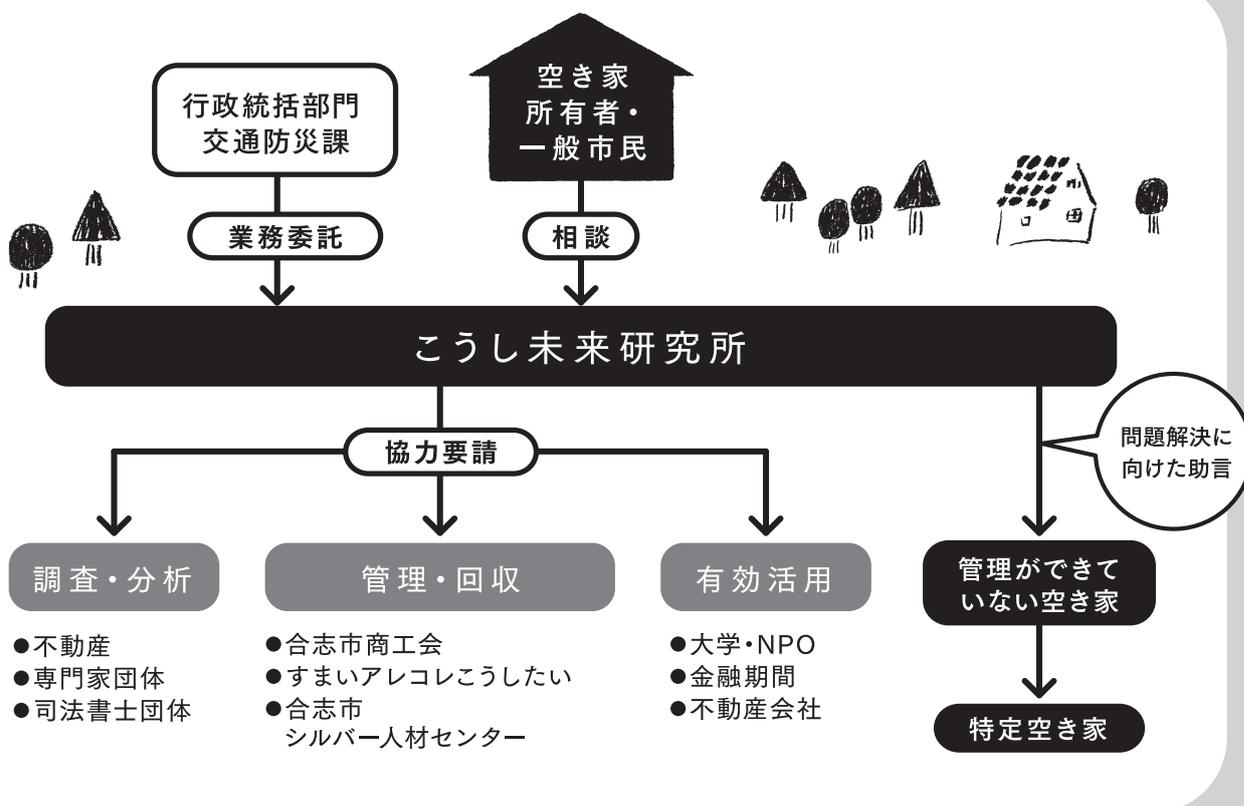
KOSHI Vacant House Renovation Project

住みたい人が増えている合志で、
空き家のままではもったいない!
空き家をお持ちの方と
住まいを探している方を
つなぐプロジェクトが始まります。

相談窓口を開設しました

空家等対策計の画策定により空き家の相談窓口を開設しました。合志市のまちづくり会社である「株式会社こうし未来研究所」が包括的に業務委託を受け、空き家の「相談」から「調査・分析」、「管理・改修」、「有効活用」までをワンストップサービスでサポートします。

空家等を所有しており、今後どうしたらいいのかわかりません、お悩みの方は気軽に相談窓口までご連絡下さい。



相談窓口

TEL.096-288-3731(担当 稗田)

〒861-1195 熊本県合志市御代志1661-1 西合志庁舎2F

空き家に関する Q & A



Q 空き家のままで、誰が困るのでしょうか？

A 周辺地域の住民に迷惑が掛かります。見るからに荒れてしまった空き家は周辺地域の治安に悪影響を与え、隣の家や通行する人々に危険を及ぼす可能性があります。



Q 今は家族の荷物が置いてあります。

A 人が生活していないことで管理が不十分になり建物が傷みやすくなります。人が生活していれば建物の不具合にも早く気がつくと思うので、建物の管理には人が住み続けることが重要です。

Q 古い物件は補修にも費用が掛かり、借りたい人もいないですよね？

A 空き家の利活用には様々な方法があります。例えば、いたんだ建物を借り手主導で改修(借主型DIY)してもらうことで所有者は初期投資を抑え、代わりに、借り手に安い賃貸で貸出ます。借主の退去後は、綺麗になった住宅として市場相場と同じ賃料で再度貸出することも可能です。この方法により、初期投資も抑えることができ、古い物件でも利活用できます。



Q 空き家と相続問題ってどう関係があるの？

A 相続問題が原因で多くの「空き家」が生まれています。「多人数との共有物になり名義が複雑になったり」、「相続から長い年月が経ってしまい、持ち主の連絡先が分からない」などの理由から放置されてしまった空き家が多く事例としてあります。不動産については、早い段階で相続した後のことを考えるのが重要です。



Q 空き家のこと誰に相談すればいいのでしょうか？

A こうし未来研究所に相談しましょう。合志市のまちづくり会社である、「株式会社こうし未来研究所」が包括的に業務委託を受け、「空き家の相談窓口」を開設しました。相談から利活用までワンストップサービスでサポートしますので、空き家などでお悩みの方はお気軽にご相談ください。